

試合時における注意事項

中日本ブロック審判委員会

委員長 岩田 昇

審判長 臼谷 忍

- ① 試合前の練習時は、大会に登録した監督・コーチ及び選手以外が、グラウンドに入り練習の補助をすることは出来ない。
- ② グラウンド内でのノック・シートノック時の補助要員は必ずヘルメットを着用すること。
- ③ 外野でのトスバッティング・キャッチボール等の練習時はファールラインを消さないこと。
トスバッティング時は必ずヘルメットを着用すること。
- ④ 試合前の練習後は必ずグラウンド整備を行うこと。
- ⑤ 試合中、フィールド内(室内練習場を含む)で次試合投手のブルペン使用は出来ない。
- ⑥ 試合中次打者席へは必ず次打者が入り、低い姿勢で待機する。また、ボックス内には自身が使用するバット以外持ち込んで서는ならない。
- ⑦ 打者がサインを見る場合等、むやみにバッターボックスを出ないこと。手を上げて見ないこと。
- ⑧ 捕手が2アウト後の次打者の場合でも、プロテクターを取り外して待つこと。
- ⑨ ボール回しは、ひとまわりとする。最終野手は投手に近寄らず自分の守備位置より返球すること。
但し、試合の進行上禁止することがある。
- ⑩ イニング間のミーティングは、試合進行を妨げないようにスピーディに行うこと。
- ⑪ 試合中先頭打者・ベースコーチはミーティングに入らず所定の位置に付くこと。
- ⑫ 試合中は、控え選手がファウルグラウンドで遠投及びランニング等をするのを禁止する。
- ⑬ 試合中ベンチ横で1名の素振り認める。但し、ヘルメットを着用すること。
- ⑭ 捕手が座って投球を受ける時は、必ず規定の捕手用具を着用すること。
- ⑮ 捕手に対し、捕球時にミットを故意に動かす事をやめるように指導すること(マナー違反)
- ⑯ ベンチに持ち込むメガホンは2本とする。監督・コーチの使用に限る。
- ⑰ 監督・コーチは、試合時間内に終了させるため四球・死球・攻守交代時は全力疾走し、サイン交換もスピーディにできるように指導を行うこと。
- ⑱ 試合中の投球練習時には、マスク・コート等はグラウンド内に置かないこと。
また、監督・コーチの立会は禁止する。

* 服装の乱れ、ベルトの緩み、スパイクシューズの紐の緩みが無いようにすること。

* その他の事項については、指導者・審判員ハンドブックを参照のこと。